

平成 29 年度春夏作芝関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財) 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成 29 年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検
討会は、平成 29 年 11 月 13 日(月)にホテルラングウッド
において開催された。

この検討会には、試験場関係者 19 名、委託関係者 55 名
ほか、計 80 名の参集を得て、除草剤 7 薬剤 (36 点)、生育

調節剤 7 薬剤 (39 点) について、試験成績の報告と検討が
行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に
示す通りである。

平成 29 年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験 判定

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. DAH-171 EC 新規化合物:2.7%(w/w) [ダウ・アグロサイエンス 日本]	コウライシバ	雑草生育期	継	継) ・効果、葉害の確認 (コウライシバ、ノシバ、ケンタッキーブルーグラス)
	コウライシバ	ヒメクグ生育期		
	ノシバ	雑草生育期		
	ノシバ	ヒメクグ生育期		
	ケンタッキー ブルーグラス	雑草生育期		
2. HAT-511 粒 メコプロップPカリウム塩 :1.0% DBN:1.0% N:P:K:Mg=11:8:6.5:3 (H29より表示値変更) [保土谷アグロテック]	コウライシバ	発生前	実・継	実) [春夏作:(コウライシバ)一年生雑草] ・芝生育期、雑草発生前 ・20~40g/m ² ・土壌処理(全面) [春夏作:(コウライシバ)一年生雑草、多年生広葉雑草] ・芝生育期、雑草発生初期 ・20~40g/m ² ・土壌処理(全面)
	コウライシバ	発生初期		
3. HAT-611 粒 メコプロップPカリウム塩 :1.0% DBN:1.0% [保土谷アグロテック]	コウライシバ	発生前	実・継	実) [春夏作:(コウライシバ)一年生雑草] ・芝生育期、雑草発生前 ・20~40g/m ² ・土壌処理(全面) [春夏作:(コウライシバ)一年生雑草、多年生広葉雑草] ・芝生育期、雑草発生初期 ・20~40g/m ² ・土壌処理(全面)
	コウライシバ	発生初期		

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
4. HPW-112 乳 +アシュラム液 IPC:50%+アシュラム:37% [保土谷UPL]	ノシバ	雑草生育初期	実・継	実) [春夏作;(ノシバ)一年生広葉雑草] ・芝生育期, 雑草発生初期 ・HPW-112乳0.8~1.2mL +アシュラム液0.5mL<200~300mL>/m ² ・茎葉兼土壌処理(全面) 継) ・一年生イネ科雑草に対する効果の確認(ノシバ) ・倍量薬害試験での確認(ノシバ) ・連用試験での確認(ノシバ) ・実証試験での確認(ノシバ) ・萌芽期薬害の確認(ノシバ) ・高温期薬害の確認(ノシバ) ・緑化木への影響の確認
5. RGH-1602顆粒水和 カフェンストロール :45.0% レナシル:25.0% [理研グリーン]	コウライシバ	ヒメクグ発生前 →ヒメクグ発生前~初期	実・継	実) [(コウライシバ, ノシバ)一年生雑草] ・芝生育期, 雑草発生前~発生初期(3葉期まで) ・0.2~0.4g<200~300mL>/m ² ・土壌処理または茎葉処理(全面) [春夏作;(コウライシバ)ヒメクグ] ・芝生育期, 1回目;ヒメクグ発生前 2回目;ヒメクグ発生前~発生初期 ・0.2~0.4g<200~300mL>/m ² 2回 ・土壌処理(全面) 注) 散布間隔は1ヶ月を目安とする 継) ・倍量薬害試験での確認(コウライシバ, ノシバ) ・連用試験での確認(コウライシバ, ノシバ) ・実証試験での確認(コウライシバ, ノシバ)
6. SB-3651 顆粒水和 チウラム:30% テトラクロロイソフタロ ニトリル(TPN):50% [エス・ディー・エス パイ オテック]	ベントグラス	藻類発生初期	実・継 従 来 ど お り	実) [(コウライシバ)藻類] ・芝生育期, 藻類発生前 ・2g<500mL>/m ² 3回 ・土壌処理(全面) 注) 散布間隔は2週間を目安とする [(ベントグラス)藻類] ・芝生育期, 藻類発生前 ・2g<200~500mL>/m ² 2~3回 ・土壌処理(全面) 注) 散布間隔は2週間を目安とする 継) ・藻類発生初期での効果薬害の確認(ベントグラス) ・連用試験での確認(コウライシバ, ベントグラス) ・実証試験での確認(コウライシバ, ベントグラス) ・萌芽期薬害の確認(コウライシバ)
7. SG-180 フロアブル オキサジクロメホン:12% フルミオキサジン:2.5% [住化グリーン]	コウライシバ	雑草発生前	実・継	実) [春夏作;(コウライシバ)一年生雑草, 多年生広葉雑草] ・芝生育期(萌芽前), 雑草発生前 ・0.2~0.4mL<200~300mL>/m ² ・土壌処理(全面) 継) ・効果薬害の確認(ノシバ) ・薬害発生要因の確認(ノシバ) ・倍量薬害試験での確認(コウライシバ) ・連用試験での確認(コウライシバ) ・実証試験での確認(コウライシバ) ・緑化木への影響の確認

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. ALF-0614 フロアブル テトラコナゾール:12.0% フルオキサストロビン :20.0% [アリスタライフサイエンス]	ベントグラス	夏の高温期の根部衰退軽 減効果の検討	継	継) ・効果、葉害の確認
2. BAF-1504WDG顆粒水和 ピラクロストロビン:6.8% ボスカリド:13.6% [BASFジャパン]	ベントグラス	夏の高温期の根部衰退軽 減効果の検討	実・継	実) [春夏作;(ベントグラス)夏の高温期の根部衰退軽減] ・芝生育期 ・1000倍<500mL>/m ² 1~2回 散布間隔は30日を目安 ・土壌処理(全面) 継) ・1500倍処理での効果葉害の確認(ベントグラス) ・倍量葉害試験での確認(ベントグラス) ・実証試験での確認(ベントグラス)
	ベントグラス	夏の高温期の根部衰退軽 減効果の検討 (2回処理)		
3. MBF-162 顆粒水和 ピラクロストロビン:5.0% フルキサピロキサド:4.0% [丸和バイオケミカル]	ベントグラス	夏の高温期の根部衰退軽 減効果の検討 (2回処理)	実・継	実) [春夏作;(ベントグラス)夏の高温期の根部衰退軽減] ・芝生育期 ・500倍<500mL>/m ² 2回 散布間隔は30日を目安 ・土壌処理(全面) 継) ・倍量葉害試験での確認(ベントグラス) ・実証試験での確認(ベントグラス)
4. NC-224 顆粒水和 (旧表示ドライフロアブル) アミスルプロム:50% [日産化学工業]	ベントグラス	夏の高温時の根部衰退抑 制軽減効果の検討	継	継) ・効果葉害の確認(ベントグラス)
5. NF-171 顆粒水和 ピカルブトラゾクス:20% [日本曹達]	ベントグラス	夏の高温期の根部衰退軽 減効果の検討 (7月処理)	実・継	実) [春夏作;(ベントグラス)夏の高温期の根部衰退軽減] ・芝生育期 ・1000~2000倍<500mL>/m ² ・土壌処理(全面) 継) ・倍量葉害試験での確認(ベントグラス) ・実証試験での確認(ベントグラス)
	ベントグラス	夏の高温期の根部衰退軽 減効果の検討 (8月処理)		
6. NF-181 フロアブル ピカルブトラゾクス:5% イミノクタジン酢酸塩:5% [日本曹達]	ベントグラス	夏の高温期の根部衰退軽 減効果の検討 (7月処理)	実・継	実) [春夏作;(ベントグラス)夏の高温期の根部衰退軽減] ・芝生育期 ・500倍<500mL>/m ² ・土壌処理(全面) 継) ・倍量葉害試験での確認(ベントグラス) ・実証試験での確認(ベントグラス)
	ベントグラス	夏の高温期の根部衰退軽 減効果の検討 (8月処理)		
7. RYH-106 フロアブル オキサジアルギル:35.4% [バイエルクロップサイエ ンス]	コウライシバ	張芝(コウライシバ)の根 部生育促進効果の検討	実・継	実) [春夏作;(コウライシバ)張芝の根部生育促進] ・張芝後1週間程度 ・0.15~0.2mL<200mL>/m ² ・土壌処理(全面) 継) ・効果葉害の確認(ノシバ) ・張芝後処理時期の確認(コウライシバ) ・倍量葉害試験での確認(コウライシバ) ・実証試験での確認(コウライシバ) ・高温期張芝での葉害の確認(コウライシバ)
	ノシバ	張芝(ノシバ)の根部生育 促進効果の検討		